

第6学年〇組 道徳学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 主題名 本当の友達 高学年2ー(3) 信頼・友情
資料名 「はと車」 (青葉出版)

2 主題設定の理由

○ 本学級の児童は、元気に外で遊ぶことが好きな子もいるし、一人で本を読むことが好きな子もいる。集会の時などは一緒に遊んだり、班の中で男女仲良く話す姿も見かけられる。

また、自分との付き合いが多い子については、無条件で支持したり、話を聞こうとすることが多いが、つきあいの少ない子に対しては、素直に話を聞く姿勢にはならないこともある。自分の意見が聞き入れられないと、強い言葉で言い返すことも多く、自己中心的な考えをもっている子が多い。

そこで、このような子どもたちに、自分の友達の考えを冷静に見つめ、自分の思いや考えだけで友達のことを判断しないこと。また、自分の考えは、いつもきちんと伝えていくことの大切さなどにも気付かせることは意義深いと考える。

○ 本主題は「互いに信頼し、学び合って友情を深める心情を育てる」ことが主な内容である。友情は相手を尊重し大切に思う中で育つものである。そのような視点で友達関係をもう一度見直し、真の友情を育てていくことが大切である。自分の考えだけで判断せず、友達の気持ちを考えることの大切さに気付き、本当の友達をつくっていかうという心情を育てることを考えている。時として、意見が違ったとしても、はっきりとその意見を述べ合うことで、友情が壊れるものでないことに気付かせることは大変意義深い。

○ 本資料は、幼い頃からの友人である僕とまこと君。夏休みの終わりに、まこと君からあけび細工のはと車をもらい、とても温かい感じがする。しかし、2学期初めの学級会で、スポーツ集会の話し合いをする。僕がサッカーという意見を出したのに対し、まこと君はバスケットボールという意見を出す。そんなまこと君を別人のように感じる僕。下校時、話しかけてくるまこと君を振り切って帰る僕。その後、まこと君からの電話で、サッカーを支持しなかった訳を話され、はと車を大切にしてほしいと伝えられ、電話の前で立ちすくむ僕。僕が友情に悩む姿をとらえさせたい。

本時指導に当たっては、僕のマこと君に対する心情の変化を場面ごとにとらえさせたい。まこと君の言動で、僕の心に変化する様子が、子どもにはなじみが少ないかも知れないが、はと車を通して表されているように感じる。

指導に当たっては、まず、友達から贈り物をされた時のうれしさや、同じ物をもったことがある経験を出させ、共通の物を持つことによって深い友情を示すことのあることに気付かせたい。展開1では、はと車という共通の物を贈られた事で深い友情を感じるとともに温かい心の僕をとらえさせたい。次に、話し合いで意見が違った事で、まこと君が別人に見え、話す事もなく帰り、温かさも感じなくなった僕。それらの心について話し合わせたり、心情図で示させたい。更に、電話がかかってきて、はと車を大切にしてくれと言われ、立ちすくむ僕の心情を示させるとともに、その気持ちを道徳ノートに書き、話し合わせる。この意見交換の前後での心情図での変化や話し合いを通して、自分の事だけを考えず友達と意見が違った時の自分の行動を思い出すことも含め、自分のこれからの行動を考えさせたい。終末では他の児童の考えを聞くことにより自分の思いを深めさせたい。

3 本時のねらい

友達の行動、考えを理解し、真の友情を築こうとする態度を育てる。

- 4 本時 平成21年11月25日(水) 第5校時 第6学年〇組教室において

- 5 準備 資料「はと車」、板書用挿絵、心情図、道徳ノート

6 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援
導 入	<p>1 友だちと自分で意見が違って嫌だなと思った事について、話しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級レクでしたいことが違っていた。 ○ 調理実習でつくりたいものが違っていた。 <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 友達について考えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の資料を共感的に読むために、仲のいい友だちで同じ意見であってほしいと思った時のことなどを思い出させる。
展 開 1	<p>2 資料「はと車」を読んで、僕の気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 教師の範読を聞く。</p> <p>(2) 僕とまこと君が幼友だちであることを確かめたのち、僕の気持ちについて考える。</p> <p>【はと車をもらったとき】</p> <p>はと車…温かい感じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大切にすよ ○友だちはいいな ○優しいな <p>【話し合いで意見が違って家に帰り、はと車を見ているとき】</p> <p>はと車…にくらしく思えた</p> <ul style="list-style-type: none"> ○なぜ賛成しない ○友だちなのに… <p>(3) まこと君の電話で、揺れ動く僕の心情について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 電話の前でたちすくんでいた「ぼく」は何を考えていたのだろう </div> <p>はと車…大切にしてくれよな</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えばかり言っている ○確かに考えは分かる ○友達は大切にしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の範読を通して、資料の概要をつかませる。 ○ 僕の気持ちに共感できるように、僕とまこと君が幼友だちで、とても仲良しであることを、確認する。 ○ 心情図に色を塗ることで、自分の考えをもつ手助けとする。 また、発表の時はその色に塗った訳を説明しながら発表させる。 ○ 価値に迫らせるために「自分中心の考えから友達のことを大切にしたい」という考えが出るように指名を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ まこと君が電話をかけてきた事や「あのはと車、大切にしてくれよな」の言葉にこめられた、まこと君の思いを心情図を使って考えることで「ぼく」の気持ちの変化を考えさせる。
展 開 2	<p>3 今までの自分の生活を振り返り、友だちと意見が違ったりした時の自分の行動について気付いたことを道徳ノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちと意見が違った時の自分の行動を思い出させたい。
終 末	<p>4 みんなの意見を聞き合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えを受け入れる立場に変わったりした児童の考えを読むことでまとめをする。